

地域を巻き込んで子供の貧困対策等に取り組む事例の 御紹介について

内閣府子どもの貧困対策担当では、

- (1) 子供の未来応援国民運動 Facebook ^(※1) で紹介している他【P2～P4】、
- (2) パンフレット等の中で事例紹介をさせていただいています（P5）。
- (3) また、特に、子供の未来応援基金で御支援させていただいている団体さんの取組については、下記、子供の未来応援国民運動のHP ^(※2) において、活動内容を紹介させていただいております（P6）。

(※1) Facebook : <https://ja-jp.facebook.com/kodomomiraiouen/>

(※2) 子供の未来応援国民運動 各地の支援団体 :
https://kodomohinkon.go.jp/various_places/

(1) 子供の未来応援国民運動 Facebook による周知 (例)

<https://ja-jp.facebook.com/kodomonomiraiouen/posts/2670117243023576>

子供の未来応援国民運動
作成者: Kodomonomiraiouen Kokuminundou ● 2020年1月8日 ●

【フードバンク支援と食品ロス削減を同時に実現するスーパー「ハローズ」】

広島・岡山など瀬戸内6県にスーパーマーケット83店舗を展開する(株)ハローズが、「子供の未来応援国民運動」の普及啓発にご協力くださっています。

セール告知や商品ポスターを掲示するスペースの一部を削いで「子供の未来応援国民運動」のポスターを掲出するとともに、各店長さんが胸に国民運動の缶バッジを着用して接客して下さっています。

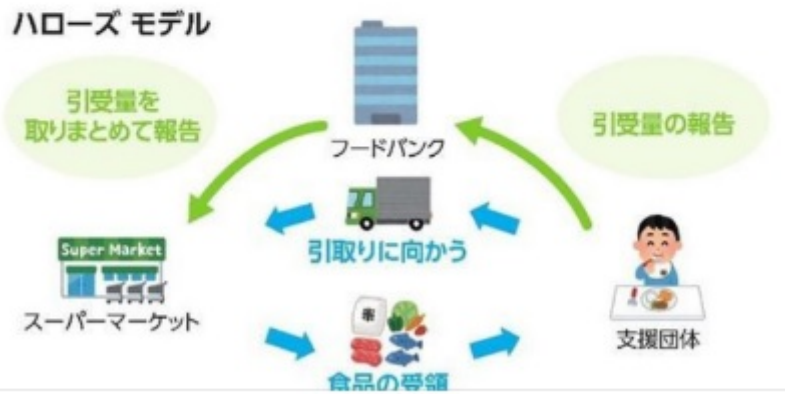
ハローズは、以前から食品の廃棄ロス削減とフードバンク支援に取り組んでおり、2019年には、11のフードバンク、50以上の子供食堂のほか、地域の障がい者就労支援施設や社会福祉協議会など多数の支援先に、年間60トンの食品や日用雑貨を提供するまでになっています。

これを支えているのが、フードバンクと契約した子供食堂等の支援団体が、直接に近隣のハローズ店舗へ寄付品を引き取りに向かう「ハローズモデル」と名付けた仕組み。これにより、ハローズと支援団体双方の作業を効率化するとともに、支援ニーズにきめ細かく対応しやすくなり、賞味期限の制約にも余裕をもって対応できるようになったとのこと。

ハローズのように、業態を活かした支援の方法を取り入れることで、子供の未来応援国民運動がさらに広がり、持続的な活動となることを願っています。

参考：
-ハローズ>「ハローズ 環境・社会活動のご報告2019」
<https://contents.xj-storage.jp/.../20190517114703066s.pdf>

ご協力くださったハローズ店長の皆様



1,813 リーチした人数 117 エンゲージメント数 [投稿を宣伝](#)

58 シェア5件

いいね! コメントする シェア



子供の未来応援国民運動

7月18日 · 🌐

【部活を通じて“奉仕と学び”を。
水城高校インターアクトクラブの「学生服未来応援ファンド」】

水城（すいじょう）高等学校は、茨城県水戸市にある、3学年計42クラスを持つ私立高校です。

このほど、同校の社会奉仕や異文化交流をテーマとするインターアクトクラブが、着なくなった中学生の時の体操着などの寄付を募り、その買取額を子供の未来応援基金に寄付していただきました。

これは(株)サンクラッドが展開する「学生服リユースSHOPさくらや」の「学生服未来応援ファンド one support」と連携したものです。インターアクトクラブ顧問の藤井真智子先生がたまたま知った他校での連携事例を部員に紹介したところ、「うちでもやりましょう」となったそうです。

地元のさくらや水戸店の協力を得て、寄付の呼びかけ方、寄付品の留意点（記名部分の扱い）などを検討し、それを踏まえて部員が1年生の全13クラスを回って趣旨とともに説明し、協力を呼びかけました。

「ただ寄付を集めるだけでなく、その理由や背景、なぜ必要なのかなど、部員が自ら考えることが大切だと考えました。“奉仕と学び”の両方を」と藤井先生は言います。

6月18日（金）19日（土）の2日間で、体操服など139点が寄せられました。その買取額から、さくらや水戸店などを通じて子供の未来応援基金に寄付されます。

水城高校は私立校ということもあり、経済的に恵まれた家庭の生徒が多いと思われる。

「この部活を通じて部員たちは、貧困状況にある子供たちがいること、そうした子供たちに自分たちが手助けできること、などに気づいてくれたようです。もちろん私自身も様々な気づきがありました」と藤井先生は語ってくれました。

#水城高校 #学生服リユース #子供の未来応援

写真提供：水城高校インターアクトクラブ

- ①：インターアクトクラブの部員が校内を回って体操着などを回収しました。
- ②：寄せられた衣類を整理して梱包する部員たち
- ③：手作りの告知ポスター



👍 38

シェア2件



子供の未来応援国民運動

3月23日 · 🌐

【北上市のレストラン「ボンバル」が、古本募金にご協力】

岩手県北上市のレストラン「Bon Bar (ボンバル)」が、2月13日から「こどものみらい古本募金」にご協力いただいております。

ボンバルは、JR北上駅西口から徒歩10分足らずにある、「自然派ワインと料理のお店」。毎週土曜日みのランチ営業時に、本やCDなどのご寄付を呼びかけ、ご協力いただいたお客様にはデザート(3月はチョコレートブラウニー)を無料でサービスしています。

古本募金へのご協力のきっかけは、市内の「和賀ライオンズクラブ」の呼びかけによるもの。同クラブのメンバーでもあるボンバルのソムリエ菊池亮さんによると、「我々はもちろん、お客様にも古本を持ち寄っていただく。それが私たち以上に厳しい状況におかれている子供たちに手を貸すことにつながるのなら、ぜひやりたいと考えました」とのこと。

お店のInstagramを通じて呼びかけたところ、少しずつですが着実にご寄付が集まっているそうです。

「何が正しいのか分かりませんが、お腹を空かしている子供がいるならお腹いっぱい食べさせてあげたい、と思うのは飲食に携わる者として当たり前のこと。古本募金はこれからも息長く続けていきたいですね」と、菊池さんは語ります。

#こどものみらい古本募金 #子供の未来応援 #BonBar #ボンバル #北上市

・参考) 自然派ワインと料理のお店ボンバル (Instagram)

<https://www.instagram.com/p/BiWKy6uFBOY/>

※写真はボンバルさんご提供



👍❤️ 42

シェア1件

(2) 子供の未来応援国民運動パンフレットによる周知

<https://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/kokuminundou/brochure.html>

マッチング事例

モノの提供

(株)Z会ソリューションズ × 学習支援団体



全国44カ所の学習支援施設に試験対策書籍や総復習ドリルなどの学習教材を7,822冊寄贈しました。

日本コーバン(株) × 学習支援団体



感染症対策を徹底しつつ、学びを支える活動が求められていることを踏まえ、学習支援団体に通う子供たちに自社が取り扱う輸入マスク775枚を寄贈しました。

フードバンク・フードドライブに協力

(株)カーブスジャパン × フードバンク団体



毎年1か月間、全国約2,000店舗でフードドライブを実施。児童養護施設、母子生活支援施設、フードバンク31団体に寄贈しました。

(株)ハローズ × フードバンク団体



岡山県など6県で展開する食品スーパーの商品をフードバンクが近隣店舗で直接受け取るしくみを開発。運送の負担軽減と、期限が迫るものも提供可能となり、食品ロス的大幅削減になりました。

ギャップジャパン(株) × フードバンク団体



福岡県内の店舗従業員がボランティアでフードバンク活動を支援しています。

出前授業など「体験」の提供

横浜FC × 子供食堂



©YOKOHAMA FC

クラウドファンディングで資金を募って地元・横浜市の子供食堂やフードバンクとともにイベントを実施。選手と子供たちをオンラインで結び、夢について語り合いました。

全国銀行協会 × 子供食堂



「収入」や「支出」などの金融の知識をカルタで遊びながら学ぶ出前授業を、千葉県松戸市の「こがねはら子ども食堂・よつけ塾」で行いました。

岩手電力(株) × 子供食堂



盛岡市の子供食堂で、地元企業とともに職業体験や工場見学などを実施。働く大人たちとの出会いが、職業観や将来を広げる機会となっています。

(3) 子供の未来応援国民運動のHPによる支援団体の活動周知（例）

https://kodomohinkon.go.jp/various_places/



各地の支援団体

▲▲▲
取組事例

特定非営利活動法人 Kacotam [北海道]

環境に左右されない楽しい学びの場をすべての子供・若者へ

Kacotamは経済的理由や家庭環境等により、十分な学習環境にない子供を対象に学習支援・居場所づくりをしています。主にひとり親世帯や生活保護世帯の子供、社会的養護に関わる児童福祉施設の子供を対象に行っています。学習に取り組める環境、視野が広がる環境、つながりができる環境づくりを通して、五教科の学習サポート、自然体験学習・料理教室などの体験学習、キャリア学習などを提供しています。

子供の未来応援基金の 支援による活動紹介

児童養護施設や母子生活支援施設等の社会的養護に関わる児童福祉施設の子供を対象に学びの機会を提供する。

- ・目的
子供が学習に取り組める環境を提供すること
- ・対象
社会的養護に関わる児童福祉施設の小学1年生～20歳程度
- ・形態
原則ボランティアと子供1対1で実施
- ・内容
五教科の学習サポートに合わせて、状況に応じて様々な学びの機会を提供する
科の学習サポートに合わせて、状況に応じて様々な学びの機会を提供する



地域小規模児童養護施設における学習支援の様子。

団体HP <https://kacotam.com/> (外部サイト)



各地の支援団体の一覧に戻る